いわき民報
發行所 いわき民報社
平市田町一番地（電話三八一番）
編輯發行印刷人 千葉克己
日刊 但月曜日を除く
定價 一ヶ月 五円 一部二十錢

學童の就職希望

農山漁村は殆ど皆無

求人特に女子は申込み殺到 現在の志望僅か千五十六名

來春學窓を巣立つ兒童たちの就職熱はどうか！失業問題の深刻化しつゝあるとき各方面から多大の關心が寄せられてゐるが、平勤勞署に報告あつた郡內國民學校の就職希望調査によると農山漁村からの就職は全然なく炭礦地帶及び人口の多い町からの希望者が目立つて多い、同署への求人申込は管內だけで五百余名、ほかに他方面からの求人も相當ある見込なので需給狀況はむしろ就職者不足といふ現代の世相とは反對の傾向を示すのではないかとみられてゐる、女子向けの求人は特に多く商工關係小工場が大半を占めてゐる、在籍數に對しての就職希望數左の通りで合計一千五十六名となつてゐる（括弧內は就職希望數）

植田二二六（四〇）、山田七八（九）、錦一〇一（一〇）、勿來第一二四二（九）、同第二三五（二六）、田人八〇（七六）、湯本一〇九（二五）、常磐一五一（一四五）、磐崎八六（一五）、渡邊四四（九）、泉一〇六（七）、小名濱第一一六五（一三）、同第三四七（五）、江名第一八七（一一）、飯野六六（一六）、好間第一二四四（五二）、高阪四〇一（一三四）、川前三四（五）、赤井八七（三三）、同第二五七（四二）、豐間七五（二）、夏井六三（二）、神谷八二（一四）、草野一〇八（二五）、大浦第一一〇四（二六）、同第二九二（一〇）、四倉一二四（一〇）、澤渡三七（一二）、渡戸二六（一二）、永井二九（五）、平第一二三三（一二六）、同第四六六（一二）

中旬の出炭好調

全國的のゼネスト体系に危ぶまれた中旬の出炭成績は東北は四百十噸の超過で四萬七千十噸の好調子、大日本勿來の八百七十九噸、古河好間七百九十二噸、日曹赤井二百七十噸を筆頭に大炭礦は四万一千五十噸、超過二千百五十噸を示したが小炭礦は五千九百六十噸、一千七百四十噸の減少を見せて居る

母親學校の皮切り

大浦村が十九日逸早く開講

郡內の母親學校は既報の如く十ヶ所に開設と決定、各町村とも開設を急いでゐるが大浦村では他町村にさきがけて母親學級を開設、農村婦人の民主敎育より進めることになり十九日開講式をあげた、尚植田町でも今月中に開設の運びと決定した、講座は明春三月まで二十時間農閑を利用して開かれる

平郵便局で理髮部設置

平局では局內の事務多忙と經費輕減の一助にもと十二日來消費組合內に理髮部を設置し、事務の余暇を利用して順番制で局員の散髮サービスに當つてゐる

皆さん引換は？

あと九日で紙屑になります

證紙貼付の舊圓もあと九日で紙屑となつてしまふが、二十一日現在迄に引換への總元締常陽銀行平支店へ回收されたものは千九百三十五万圓で、まだ〳〵市郡下には舊圓が相當あるものとみて同行では二十二日各町村金融機關へ引換を急ぐやう注意を發した

田邊問題の態度決定

廿三日に持越し

濱三郡勞組地區聯委員會は二十一日午前十時から田邊鐵工所に加盟の十四團体代表二十余名參加して開かれた、柿沼副委員長議長となり「田邊從組の脫退問題」これにからむ委員長後任問題等種々協議したが、二十三日第二次委員會を招集、態度を明らかにすることゝした、後任委員長は柿沼副委員長の昇格と見られてゐる

萬年筆大量入荷
岡萬年筆店
平三　電三九九

平名物馬市の復活

郡馬商組合廿八日準備總會

郡馬商組合では二十八日平市公會堂日本間に臨時總會を召集、二十年前迄盛況を極めた平の馬市とうたはれた鎌田町の馬市場をこの際復活せしめて“產馬石城”に大きな役割を果させやうと、これが復活を決定その諸準備對策を練ることになつた市でも非常に贊意を表しその實現に協力することゝなつてゐる

先生の頭の切替へ

廿四、五兩日最勝院に鍊成會

石城地方事務所では郡內國民學校訓導の頭の切替のため二十四五の兩日大浦村上仁井田最勝院に郡內國民學校の上席訓導の參集をもとめ民主敎育を眼目とする鍊成會を開くことゝした、指導には內島地方事務所敎育課長が當り名家の講演もある

市立高女も五年制へ

近く學務委員會を

市では市立高女の五年制實施について近く學務委員會を開き懇談するが、磐城高女がすでに明年度から實施に決定したので、平女も万難を排して明年より實施するものとみられてゐる

町內會長合同會議

小名濱町では二十六日午後一時より第一國民學校講堂に町內會長隣組長の合同協議會を開催、長瀨助役から地方制度改正の要旨を述べ更らに泉庶務主任から產米供出の手續き、三浦厚生主任からは北海道開拓團の入植者勸誘の說明、最後に柴田警部補から火災季に際しての火防並に防犯上の注意があつた

小名濱高女移管猛運動

けふ町長等出縣

小名濱町では町立高女校の建築が豫定通り進捗し第一期工事の完成と共に第二工事に着手する段取りとなつたのでこの際を期し縣立への昇格移管運動を開始することに決し志賀町長は樋口鈴木（治作）小野（直）小野（長）馬上の各町議と共に二十二日午前五時十分平發列車で出縣した

堀越君の遺骨判る

小名濱町字完面堀越新平歲長男芳夫君は比島方面で戰死の旨の公報が一昨十九年夏にあつたが爾來二年有半遺骨が還らぬで案じてゐたところ今度本籍地不明の爲め宙に迷ふ英靈の中に雜つてゐたことが判り、遺族も町當局も大喜びでゐる

麥類ご薯の供出成績

廿日現在の調査

郡內の本年度のお米の供出割當は明二十四日決定されるが大麥小麥馬鈴薯の供出成績を二十日現在で見ると大麥三萬四千七百六十九俵、九十%小麥七千九百四俵、八十一%馬鈴薯四万六百二十二貫、百四十五%と云ふ狀態で完遂町村を見ると大麥では勿來、江名、磐崎、湯本、永戶、其輪の五ヶ町村、小麥は山田田人、高久の三ケ町村、馬鈴薯は澤渡三阪の四百四十五%川部の三百四十九%を筆頭に大部分完遂したが未完遂は川前、湯本小名濱の三ケ町村となつてゐる

小名濱署の實現へ

警部補派出所の昇格運動開始

小名濱町では高女校の縣移管運動に併せて警部補派出所をもこの際一氣に本署に昇格せしめやうと志賀町長等は二十二日出縣猛運動を開始した、町では市制の前提として學校網の完備に呼應して實現の肚で早くも警部補育會と事務室に分離して、その休裁をも整へしむべく、地福院境內に地をトして地鎭祭も既に執行着工してゐる程である

伊關氏の美擧

二丁目吳服商伊關房治さん（六五）は去月二十日綴驛附近で五百圓入りの財布を拾得、早速平署に屆出でた所此程落主は常磐炭礦久保木謹吾氏と判明、同氏は此の世智辛い世の中に奇得なんであると御禮金二百圓を進呈した所伊關さんは當り前の事をした迄ですと固辭したが久保木がたつてと進めたので心良く受入れて更に自分の三百圓を加へて金五百圓也を市社會課同胞援護會に寄附係員を感激させて居る

青果物市場は郵便局の角へ

市營青果物市場の實現は各方面から好評を呼び市では來る十一月一日の店開きに大童となつてゐる、元市役所跡はテニスコート及びスケート場設置のため場所を變更、四丁目郵便局脇に二十坪の市場を建設することに決した、一兩日中に地鎭祭を執行開場を急ぐ

いわき寸言

▼郡馬商組合二十年前に榮えた平の馬市を復活せしめるとある市の繁昌のためにも良いこと、市民も双手をあげて贊成

▼先生方の頭の切替へのため大浦村に鍊成會開くとある眞に御尤至極

▼高女の縣移管運動に併せて警部補派出所の本署昇格へも小名濱町乘出す、同町の發展性を遺憾なく表示したもの

▼學童の就職希望に農山漁村は殆んどないとある一方求人側は殺到特に女子の求人が多い、失業等に惱む大人の世界とは正反對、羨しい限り

▼電產ゼネスト騒ぎの影響もなく中旬の出炭成績は好調とある、小炭礦が減產にも拘らず大炭礦の出超がこの成績を示したもの、これでこそ大炭礦の誇りもあるといふもの

三井吳服店主柏原幸次郎儀永らく病氣療養中の處養生不相叶十月十九日午前十一時永眠仕り候條茲に生前の御厚誼を拜謝し此段御通知申上候

追て葬送の儀は來る十月二十三日午後一時市內新川町別宅出棺習提院に埋葬可仕候

昭和二十一年十月二十日　福島縣平市新川町二九

喪主　柏原光太郎
柏原秀藏
外親戚一同

いづみやは
どんな品をどんなに安く賣つてゐるか
是非一度御覽下さい
電三四八番

帳簿記決算　計理　變更合併設立增資　會社
桑原計理事務所
計理士稅務代理士　桑原徹
平市塲士　電一八一五番

富ケ浦病院
小名濱　電三三番
內科　安田善一
小兒科　佐藤忍
木田茂
師田むめ子
眼科　筒井榮
產婦人科　下田林之介
耳鼻咽喉科　師田むめ子
外科
皮膚泌尿器科　下田林之介
臨床檢査室　佐藤忍
藥劑士　足立理義
依田壽美子

増産の鍵は統制の撤廢に
水産界の現實無視も甚しい

餓死線上一歩前の緊迫せる現下食事情の緩和切掛けに水産の増産が強力に叫ばれてゐるが、これが實現を期するには先づ現在の生鮮魚類の價格統制の撤廢が最緊要事であるとして小名濱漁業會理事高橋誠吾氏は、農林省及び縣へ即時撤廢方の陳情をなすと共に全國業會に呼掛けて全國的一大猛運動を展開、目的の達成を期することに決定、各方面から大きな支援を受けると共に成行を重視されてゐる――さて何故に増産には價格統制の撤廢が肝要事であるか？高橋氏の主張するところを聴いてみる――全氏の主張は極めて秩序正しく現行の價格統制が如何に役人の机上に於いて作りあげられた、業界の現實を無視したものであるかを忌憚なく指摘してゐるとみられる――

漁師魂急激に衰退
大衆向の魚より高級魚へ

先づ價格統制の失敗の第一因は古來我國水産業界の隆盛は命を的に漁獲を競ふ、金錢を超越した漁師魂に依る、然るに十六年の統制實施以來、急激にこの漁師魂は衰退、從つてこの生産意慾の減退は漁獲絶對量の減少を來してゐる、何故に漁師魂の衰退をみたかといへば數百種に余る魚介類に對し七段階に分けて公價を決定、この公價から漁師の收入を眺めると漁夫の收入を水揚高の二割五分とするとき今公價十圓の魚を獲つて二千五百圓の收入をあげるには千貫（一万圓）獲らねばならないのに、一貫五十圓の公價の所謂高級魚を獲るならば僅か二百貫獲れば事足りる、即ち同一收入を得るに公價の安い大衆魚を目指してゐては、高級魚を獲るのより五倍からの勞力を必要とする。從つて所謂漁師魂は衰退、何れも高級魚を目指してゆくため千貫獲るべきところを二百貫で間に合ふために、そこに八割の生産減を來たさしめてゐることゝなる計算が生ずるのである

一時預り品金融
平市大町二七若松病院東横
花澤

漁場關係にこの矛盾
高級魚は近海に大衆魚は遠海に

更らに大衆魚と高級魚の漁場の位置的關係からみると鱈、ナメタ、メヌケ、鮫、ドンコ、鯖、鰯、マツカウ等々の大衆向の魚類は概ね二百尋乃至三百尋のところに棲息してゐる、時速七、五浬で二、三時間から五時間は漁場に達するには要するが一方鯛、ヒラメ、ブリ、スズキ等々の高級魚は二十尋乃至五、六十尋のところに棲息するため僅々三十分乃至一時間程度で漁場に達し得るのである、從つて危險率、船体、機關の損傷率及び勞力の多少等からみると大衆魚を獲るより、遙かに高級魚に走る方が利益であり又前記の如く同一時間の勞力で收益が多くなるから、何人も高級魚を目指してゆくことになり、これが生産意慾の減退、水産物の減産の因の第二をなしてゆくのである

高價買入レ
衣類、金屬、書畫、骨董。
平市南町平館隣り　中央會館

食糧問題に見る不安も

第三に從來漁夫の食糧給與量は概ね二合六勺で、これに供出加配米最高一四五瓦を加へても休漁日及出漁準備期間の日數を加ふるときは平均四百瓦に當らず三百瓦の不足を來してゐる現狀である、その上加配米は供出後に於て得らるゝもので、出漁の際の前渡しは殆んど行はれてゐない、從つて乘組員の食糧はその日〳〵の量に過ぎず自然遭難時等の非常米は絶無の狀態で、これが漁夫に及ぼす精神的不安は極めて甚大である、この点からも漁夫は成るべく近海で漁獲を目指すので、勢ひ大衆魚よりも高級魚に走ることにもなるのである、

七段階を三段階へ
撤廢不能の際の對策には

以上から高級魚漁獲に一般的に走るのは已むを得ぬことであるが、高級魚は量の少いものなので、毎日平均豫定數量の漁獲は困難となり、從つて日増しに減少する收入減を闇賣、横流しによつて補ふ外に途がないのである、故にこれを防止し大衆魚に對する漁師の意慾を向上以つて食糧對策に資せしめるには食糧や燃油の給與も大切であるが、それも價格統制の撤廢が最も効果があるといふ結論に達するのである、然し現下の實情から今日直に全面的價格統制の撤廢が不可能とあらば、配給資材（リンク燃油、ロープ、網等）面と對比せる供出責任量を確定、この殘余を自由販賣となすと共に現在の七段階の公定價格を▼上物貫五十圓▲大衆物貫三十圓▼潰し物（肥料原料）貫十五圓見當の三段階に改訂すべきである、斯くすれば漁師は必然的に大衆向の然かも大量に獲れるものに集中、自然生産は激增、食糧難突破の有力な一翼として水産物も浮び且つ魚價も漸次自然價格に落付いて闇や横流れの防止も出來るといふにある

帝都劇團の巨峰
不二洋子大一座
百余名來演
十月廿五日晝夜
小名濱磐城座
主催　小野一

開放
投書を歡迎す　要望批判結構　紙上可匿名

青年會文化聯合へ

▲……去る十三日夜平第三校で開かれた平城東文化會主催の新藝感謝藝能祭が近來稀にみる盛況裡に終始されたことは演技それ自体よりも文化會諸幹部の熱烈なる努力を見るべきだと思ふ終戰後市内にも新時代に順應すべき各區青年會の改組又は發足が多くなつたが、比較的に遅れたとは云へ文化會の健全なる歩みと、意圖は注視せざるを得ない存在であり、郷土文化運動に資する力は期待していゝと思ふ

▼……市內青年會を除く郡下各町村青年會の文化活動が盛であることはどうしたことか、單純に云へば農村はたしかに娯樂に飢えてゐるが青年會の素人演藝會や文化藝能祭がその娯樂の對象としてのみとみるべきは淺見であり、市內の青年によつて痛罵さるべき墮落した遊びでは決してない、彼らはまづそれらを通じて平和なたのしい生活の中から新らしい時代の生き方を見出してゐる

▼……我々はもつと若きものゝ生活を樂しく、そして手近かなものから始めたい、その曖昧な識見と力を省りみることなく、極端なる一方的政治主義思想に拘泥し身を投ずるとか、又は封建因習の枠より一歩も脫することなき利潤追求に汲々とするが如きは本末を誤まつてゐる

▼……私は率直に提唱したい、市內の青年會諸氏よ我々もまけずにやりませう。青年會より選ばれた同志が一堂に會して、お互のたのしい新しい生活を語りたのしむことによつて明朗太平市の推進力たらしめたい、各區青年會有志による劇團を作つてもいゝ、文藝研究會を開いてもいいではないですか、しかし、どこまでも夫々の天職をもつ健全なる集ひであるべきである（第十四區青年同志會文化部）

指導當局の猛反省を
高橋誠吾氏の談

右について當の高橋理事は語る

私のこの持論は從來の生産、供出會議等に於ける資本經營者の聲とは異なる、これは直接生産者たる船頭、漁師の聲なのである、從來の生産、供出會議等では單に油、ロープ網を配給すれば供出するといつた經營者の懷具合から來る概念的結論に終始してゐるのみで、こんなことでは直接生産に當る漁師の生産意欲の向上には何等の効果もないのである、これは今日の食糧事情に對比してみてわれ〳〵の深く考へると共に指導當局の猛反省すべき点であると信ずる

糸姫募集に懇談會
勤勞署が方部別に

平勤勞署では見返り物資生糸の増産に女性よ紡績工場へ來たれと呼びかけてゐるが、更に片倉製糸の五十名を筆頭に富士四十名、日清、大日本各三十名、大和、鐘淵各十名等各紡績會社からの求人は三百名に達してゐる下旬頃から各方部に懇談會を開き、日本再建のための生糸の増産に勵みませうと檄を飛ばすことゝし、先づ二十二日午後一時から署內で纖維勞務處理地區委員會を開催具体案の協議を行ふ

生活と文化
秋の夜のさゝやき
三田小路　健

淋しいかもしれませんが決して淋しがる必要はありません。冬來りなば春遠からじの氣持でこゝの處じつくりと腰を落付けて靜かに考へる事が一番よい方法です。――そうです。あなたのおとりになつた行動は間違つては居ないのです。やがてそれが通用する世の中が來るのですその日が一日も早く來る樣に祈らうではありませんか。――泣きたいでせうけれどこゝで安價な涙を流す事はあなたを弱い人にしてしまふだけです。強くなりましよう。あなたは強い人になれます。強い人になる素質を十分備へてゐます。――他人に賴る考へはいけません。この際他力本願を捨てて、自分を賴りにしませう。自分が一番強いのです。神樣も佛樣も自らを知り自らを信ずる人にのみ力を與へてくれるでせう。『信仰は信念の弱きに生ず』いつかのあなたはとても強い人だつたのですが……。――現在のあなたの苦しみはあなた個人の苦しみではありません。世の中の人總てが經驗した事です。あなたも一人前に成る爲にその苦しみを甘受しなければならないのです。――その苦しみは深く重い。苦しいでせう。正面より堂々とその苦しみに体當りをしなさい。『精神一到……』の格言は未だ死んでは居りますまい。――女らしさが強調されてゐます。自由は常に責任を伴つて來るものとお考へ下さい。いつまでも女らしさを失はずに立派に嵐を乘切つて進んでいただきたいと思ひます。海鳴の濡く今宵は星も無く窓邊の田も一入哀愁をさそひます。靜かに秋の夜のふけると共にあなたの考へも強力な推進力を蓄へる事でせう。

あなたは本を讀んで泣いたと云ひますがその氣持は貴いものです。純情こそ永久に失ひたくない寶玉です。長く世の中の空氣に接してゐると酸化して失ひ易いものです。大切に保存しておいて下さい。――あなたの出發はおくれてはゐません。決して！早く世の中の空氣を呼吸した人が必らずしも生産的な生活をしてゐたとは言へませんから將來の生産を伴ふ消費は仲々にせて出來るものではありません――あなたの立場には心から同情します。然し自棄してはいけません。自らの命を自ら絶つなんて……私はゲイベツします。――周圍の眼は何處にでも光つてゐてうるさい程あなたの行動を看視してゐます。あなたのなされた事は總て明白です。周圍の思分を考へずに動く事は大いに愼しまなければなりませんがそれにのみ思煩ふ必要はさらにありません。――あなたは若いのです。おほらかな氣持で自由に飛び廻つて下さい道からはずれる事さへなければ……。あなたにその分別はあります。ですから私は安心して居ります――大人の世界は豫想以上に亂れて居るでせう。然しそれに驚く必要はないのです。驚きも結構ですがその次に來るものを早くする事です。一日も早く……です。いつまでも現在の生活をしてゐたいと云ひますが許されない事です。あなたもやがては大人にならなければいけない人の子です。あきらめが肝賢です。いつまでも子供ではないのですその考へ方から飛躍しませう。私も手を取つて全面的のお力添へをさせていただきます。

御存知ですか
小名濱町西町の
三春屋洋服店を
シンガー各國ミシン分解並に修理開業致しました

▲帽子ノ仕立ハ
專門ノアラ井▲
小切デ利用シマセウ
ハンチング登山帽
野球帽、作業帽（舊戰闘帽）
學生帽、リツクサツク
スキー帽、ランドセル
大口ハ特ニ御相談ニ應ジマス
湯本町上町九八
中ノ寺ワキ
新井帽子專門店